

平成 28 年第 1 回市議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 28 年 3 月 10 日（木）

1 本杉 光雄 議員

1	件名	自主防組織の強化と災害応援協定について
	(1)	自主防組織とその強化について ① 自治会（町内会）組織について ② 自主防組織の強化について ③ 自主防同士の災害時の相互応援について
	(2)	災害応援協定を締結している市町との交流について

2 鈴木 千津子 議員

1	件名	牧之原市の今後を見据えて
	(1)	市制 10 周年記念事業の成果をどのようにとらえているか
	(2)	① 商店街の活性化に向けての具体策をどう考えるのか ② 御前崎港に世界の客船を呼び、経済の活性化に繋がられないか
	(3)	財政について。次世代につけを残さない為に企業誘致の現状と、高齢者の健康寿命を延ばす施策を伺う

3 平口 朋彦 議員

1	件名	中学校の部活動における外部顧問、外部指導者制度導入の可能性は
	(1)	教員の朝練や放課後など部活動指導の時間、また休日における校外遠征の引率などで拘束されている時間をしっかりと把握しているのか。また平日の手当ては実質なしで、休日のそれもごく僅かであると認識しているが実際は。
	(2)	顧問を努められている教員の当該部活動における経験や指導力のマッチングはしっかり取れているのか。経験のない種目などの指導では根性論に終始しやすい環境が容易に想像できるが。
	(3)	教員の負担軽減と本来の教師としての仕事を優先させ教師自身の裁量で使える時間を増やすことで結果、質の高い授業を提供することができ生徒にとっても利が大きくなると思われる「外部顧問・外部指導員制度」の導入を検討される余地は。

2	件名	牧之原市制10周年記念事業の総括は
	(1)	執行された事業費と、総合的な評価また個別に特記すべきものがあればあわせてお聞きする。
	(2)	合併から10年、今回の各種記念事業で全市的な機運は醸成されたか。
3	件名	図書館建設基金の設置について
	(1)	現在の『公民館等設置基金』では、他の施設に流用できてしまう関係で図書館建設に資する寄付などが積み上げられない可能性もあると思われる。そういった意味でもしっかりと特化した基金の設置が必要であると思われるが如何か。

4 中野 康子 議員

1	件名	宝子ども育成プロジェクトの推進について
	(1)	少子化対策の主要な施策（含学校教育）はなにか。また、少子化問題について、普及啓発は、どのように進めようとされているのか。
	(2)	女性活躍推進法に謳う女性の社会貢献と少子化問題との関連についてどのような見解をお持ちか。
	(3)	国は28年4月から病児保育を充実するため施設不足を解消し、親の育児と仕事の両立支援につなげるとのこと。施設の採算・利用率等の課題はあるものの取り組むことについて所見を伺う。

5 大石 和央 議員

1	件名	施政方針について
	(1)	総人口が減少する中で、自治体間での人口の奪い合いをどのように認識しているか。自治体応援としての「ふるさと住民票」の提案。
	(2)	保育園民営化について、 ① どのような経緯で検討・計画化されたのか。 ② 民営化のメリット・デメリット及び官民の保育士の年収比較。 ③ 行政の保育の責務についての見解。

2	件名	TPP 問題について
	(1)	関税撤廃による農水産物への影響額。
	(2)	食の安全について、TPP により薬剤や食品添加物、遺伝子組み換え食品がフリーとなる。 ① 市民の健康第一を考慮どのような対応をするのか。 ② 学校給食への影響についてどのように考えるか。
	(3)	ISD 条項（国家と投資家の間の紛争解決）の見解。

6 藤野 守 議員

1	件名	中小企業振興への取組み
	(1)	市内の中小零細企業振興のためにいかなる施策があるか。
	(2)	振興策のためには業者の実態把握が必要。そのための具体策をもっているか。
	(3)	中小企業振興条例などによる仕組みづくりの計画があるが、具体的に家計、市、市内企業の行動基準が必要と考えるがどうか。

7 大石 健司 議員

1	件名	東京五輪サーフィン競技の開催地等の招致活動の現状について
	(1)	正式決定まで半年を切った現時点での、運動の進捗状況と今後の活動予定。そして「勝算」への皮算用を総合的に伺いたい。
	(2)	成功に向けた「切り札」について、現時点で可能な範囲の具体的説明を求める。
	件名	平成 28 年度の「ふるさと納税」事業について
2	(1)	2 億円に迫る勢いの金額急伸の理由と背景は。これまでの反省と総括、今後の目標は。ここまでの主な成功例（失敗例）は。
	(2)	平成 28 年度には 3 億円を見込む根拠は。今後はどこまでの進展が見込めるのか。